

シンポジウム

高層建築物における可燃性外装の 燃えひろがりについて考える

主催：日本建築学会 防火委員会 上階延焼検証小委員会

後援：日本火災学会

日時：2018年10月30日（火）14:00～17:30

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

近年、外装材に可燃性材料を用いた高層建築物において、外装材が延焼媒体となって火災拡大する事例が国外で多発している。このような火災では、延焼媒体となる可燃性材料の種類、外装システムの仕様等により性状は異なるため、個々の火災事例における問題点を整理し、今後の対応策を検討することが重要となる。

そこで本シンポジウムでは、昨年6月に発生したロンドンの高層住宅（グレンフェルタワー）火災等に関する情報分析を中心とし、問題点の整理、建築ファサード燃えひろがり試験法（JIS A 1310）に基づいた再現実験の紹介等を行い、可燃性外装による急激な延焼拡大を伴う火災への対応策等について幅広く意見を伺い、討議する場としたい。

<プログラム（予定）>

- 趣旨説明 大宮喜文（東京理科大学）
 - 主題解説 司会：村岡宏（大林組），中村正寿（大成建設）
 - ①ロンドン高層集合住宅火災の概要 長谷善博（三菱ケミカル株式会社）
 - ②ロンドン高層集合住宅火災と日本の防火法令 小林恭一（東京理科大学）
 - ③国内外の火災事例と燃えひろがり試験方法 安藤達夫（東京大学）
 - ④グレンフェルタワー外装システムを再現した JIS A 1310 ファサード試験について 野口貴文（東京大学）
 - パネルディスカッション 司会：吉岡英樹（国土技術政策総合研究所）
 - まとめ 大宮喜文（前掲）
- 記録：森田武（清水建設）

参加費：会員 2,000 円、後援団体会員 2,500 円、会員外 3,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：60名（申込み先着順）

申込方法：本会 Web サイト「催し物・公募」一覧よりお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=615175>

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 中村亮輔

TEL 03-3456-2057 E-mail : nakamura@aij.or.jp